

2009年 12月25日 No060-01

高品質なオーディオアクセサリを数多く手掛けるラディウスから
装着すれば使用時間を延長できる、
充電電池内蔵の iPhone 3GS / 3G 専用プロテクトケース新発売!



ラディウス株式会社（社長：香田進、本社：東京都中央区）は iPhone 3GS / 3G 専用バッテリー搭載ケースを発売致しました。

iPhone 3GS / 3G でアプリやインターネットをしていて、気がつくと電池残量が残りがずかになってしまっていたりした経験はないでしょうか？

RK-LL612 は iPhone 3GS / 3G を守るプロテクトケースと緊急用バッテリーを一つにしたとてもスマートなアクセサリです。

RK-LL612 を iPhone 3GS / 3G に装着しておけば、iPhone 本体のバッテリーがなくなってからも音楽は最大 40 時間、動画は最大 14 時間、通話は最大 6 時間延長することが可能です。

12 月下旬より、全国家電量販店等で取り扱いを開始致しました。

2009年 12月25日 No060-02

- リチウムポリマーバッテリー搭載で使用時間を大幅延長！
- iPhone 3GS / 3G を机などに置いておけるスタンド付きなので
長時間の動画鑑賞や時計アプリの表示、スライドショーなどにも便利！
- 滑らかでマットな表面で抜群のグリップ感！

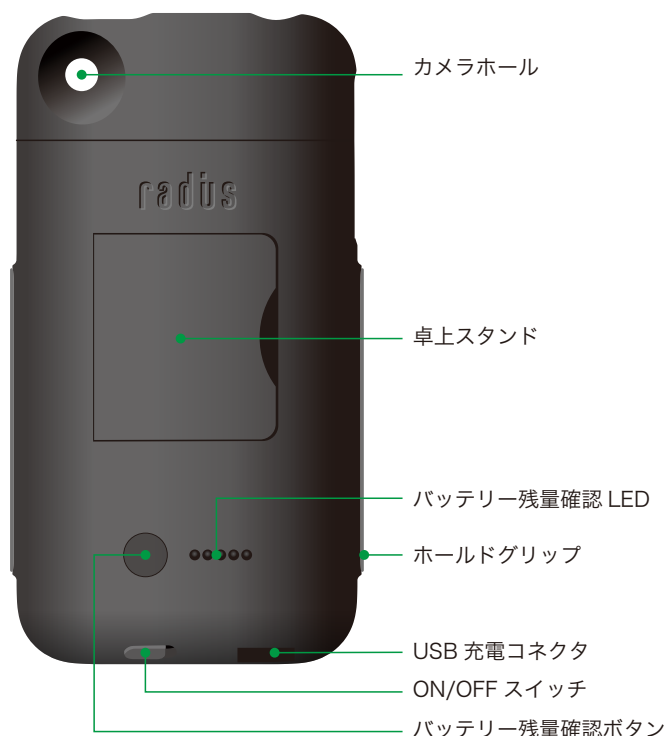


ケース上部が開き、そこからスライドして iPhone を入れる設計になっており
ガッチリとホールドするので、不意の脱落もありません。

最大 **40** 時間 最大 **14** 時間 最大 **6** 時間



大容量バッテリーを内蔵しているので、余裕の延長時間を実現致しました。



対応機種 — iPhone 3GS、iPhone 3G

製品仕様 — 入力：5V/1000mA
出力：5V/600mA（最大）
容量：1800mAh
電池種類：リチウムポリマーバッテリー
充電方法：付属 USB 充電ケーブル経由にて充電
ケースのフル充電に要する時間：約 5.5 時間
充電可能回数：約 500 回
外形寸法、重量：(H)125mm×(W)68.2mm×(D)24mm、約 82g



商品名	カラー	型番	JAN コード
CHARGE CASE for iPhone 3GS / 3G	ブラック	RK-LL612K	4531460522376

【お問い合わせ】

ラディウス株式会社 テクニカルセールス部 浅野 巧美、重岡 隆史
TEL: 03-5550-5590(代表) URL: http://www.radius.co.jp/

Company History

1986年5月19日、ラディウス社は米国カリフォルニア サンニールにて、アップルコンピューター社技術主幹 パーベル・スミス、セールス & マーケティング役員 アレイン・ロースマンなど、アップルコンピューター社の成長に大きな貢献を果たしてきた主要幹部によって設立され、初代社長はパーベル・スミスが選任されました。

設立の趣旨は、大きな組織にとらわれないアップル社設立当初のような“自由な発想のもとで製品開発をすすめたい”とするもので、アップルコンピューターの世界を大きく広げたい、との強い思いから誕生した会社でした。設立と同時に、アップル・マッキントッシュパソコンの画像処理能力の最大化を目標に、アプリケーションソフト、周辺機器の開発に着手し、ビデオ編集システム、ハイリゾリューション ビデオディスプレイ、グラフィック アクセレーターなど、次々とヒット製品を世に送りだしました。

1991年、ラディウス社の新社長に就任したパーレイ フォルサムは、日本法人のラディウス株式会社を設立、その運営を、当時IBMに次ぐ世界第二位のコンピューター会社であった、DEC (digital equipment corporation) の日本での代理店を営み、官公庁、電力会社、大手新聞社などへ、先端情報技術を納入していた香田進（現ラディウス株式会社社長）に委託、香田進の得意とするDTP関連分野からの日本市場進出に成功、その分野での拡大が図られてきました。

一方、IT世界の技術進歩と時代の変革へのスピードをいち早く察知していた香田進は、先端情報技術とコンシューマー製品との複合化に着目、ラディウス社の社是とも言うべき“自由な発想”のもとで、その実現化を図るため、1996年3月、日本法人 ラディウス株式会社を買収し、米国 radius Inc. の資本を離れ、新しい分野への進出を視野に、完全な独立会社となりました。

香田進の予想どおり、まもなく1997年にスティーブ・ジョブスの復帰によりアップル社は、MacOSを含む周辺機器、ソフトウェアの内製化を始める一方、2001年をスタートとする iPod, iTunes など、情報通信技術を駆使した音楽メディアビジネスに進出、一般コンシューマー向け携帯音楽機器の発売が始まりました。このようなアップル社の大きな変革に伴い、米国 ラディウス社は社名をデジタルオリジン社 (Digital Origin Inc.) に社名を変更、事業主体をビデオ編集ソフトに特化し、それと同時に、radius社の名称は、その企業文化とともに、日本に本社を置くラディウス株式会社を引き継がれることになりました。

アップル社のDNAを引き継ぎながら、“自由な発想”の企業文化を財産に、第二世代のラディウス株式会社の誕生は、1999年1月がその記念すべきときでした。

以降、ラディウス株式会社は、今日まで三つの柱を確立してきました。

情報製品群

先ず第一に、radius社の得意分野である EditDVなどのデジタル解析編集技術をベースに開発した、MOドライブ、HDドライブ、DVDドライブの商品化、加えてUSB接続などを含む多機能カードリーダーの開発、そして、ラディウス社の持つ高度なデジタル技術に加え、人間の聴感を最終の製品化基準としたDVDメディア「TVオド録」、ブルーレイディスクなどの情報製品群。

デジタルオーディオ製品群

そして第二に、アップルのDNAを引き継ぎ本家の iPod をより楽しむ為のデジタルオーディオ製品群。代表的な「radシリーズ」はスタイリッシュなデザインと安心の品質、安定した技術により発売以降高い評価を受けています。制限された音源をいかに高品質な音楽に再現できるか、デザイン上から音質上から、発売以来日本で爆発的な支持は得ているばかりではなく、全世界のアップル愛好者に向け、世界のアップルショップを核にしての展開も着々と計画されております。

感性音響製品群

そして第三に、情報通信時代に成長を続けてきたラディウス社にとって、行き着く先は、音楽や映像を通じての、人々の満足であり感動です。培ってきた音と映像の先端技術の上に、人間の感性を技術設計に具現化させる。この大きな試みをもって登場させるのが、感性音響製品群です。真空管アンプはまさに人間の感性を追い求め形になった製品です。

この三つの製品カテゴリーは、radius社のもつ基本先端技術のプラットフォームに立ち、そのインフラを大いに生かします。一方、それぞれの製品群が受け持つ市場では、分野別に開発された際立った特長を主張し、結果として、“技術と感性のラディウスブランド”のもとへ、多くのユーザーの支持を頂くよう走り続けてまいります。